

「第九軍団のワシ」

ローズマリ・サトクリフ／作
猪熊葉子／訳 岩波書店



今から約2000年前、ローマ帝国はブリテン（イギリス）にまで進出していた。18歳のマーカスはブリテンにローマの百人隊長として赴任する。しかし、そこで襲撃にあい、足に重傷を負ってしまう。マーカスは退役し、養生生活を送るうちに、子どもの頃行方不明になった父の隊の印である《ワシ》が、敵であるブリトン人の手の中にあるらしいことを知った。そこでマーカスは、もと奴隷で今はかけがいのない友となったエスカと2人だけでその《ワシ》を取り戻す旅にでる決心をする。

『ローマ・ブリテン四部作』の最初の作品。

「センス・オブ・ワンダー」

レイチェル・カーソン／著 上遠恵子／訳 新潮社

著者は毎年、夏の数か月をアメリカのメイン州の海辺ですごし、甥のロジャーがやってくると、いつも森に散歩に出かける。嵐の日も、おだやかな日も、昼も夜も。

それは、なにかを教えるためにではなく、いっしょに楽しむために。

世界中の子どもが、生涯消えることのない「センス・オブ・ワンダー＝神秘さや不思議さに目を見はる感性」をたもちつづけるために、知識を与えることよりも、一緒に感じ、子どもが知りたがるような道を切り開くことが大切だと訴える。

『沈黙の春』で有名なレイチェル・カーソンの遺作で、自然の写真なども収めたエッセイ。



まち「都会のトム&ソーヤ 1」

はやみねかおる／著 講談社

ぼくは^{ないとうないと}内藤内人。おばあちゃんに伝授された知恵を使ってどんなピンチも切り抜けるサバイバル(?)中学生だ。そして相棒はクラスメイトの^{りゅうおうそうや}竜王創也。巨大企業竜王グループの跡取り息子でもある彼は、頭脳明晰、クールな毒舌家である。

ぼくらはひょんなことから伝説のゲームソフトを求めて、迷路のような下水道をさまようことになってしまう。急ぎよそろえた持ち物は、ナイフと木の皮、なわとびのロープにペットボトル、それからスーパーの買い物袋。これらを使って、下水道に生息する凶暴なドブネズミの攻撃をかわし、無事に地上に脱出することができるだろうか。

シリーズ15巻まででています。



「RDG レッドテータガール はじめてのお使い」

荻原規子／著 角川書店

山伏の修験場である山奥の神社で育った^{いすみこ}泉水子は、中学3年の春、離れて暮らす父から東京の高校への進学を勧められる。彼女が断ると、父の友人^{さながら}相楽は、自分の息子^{みゆき}深行を下僕として一生付き添わせると言い出し、彼を強引に泉水子の中学へと転校させた。納得のいかない2人は、東京への修学旅行で泉水子の母に会って事態を変えようとする。しかし、東京で2人を待ち受けていたのは得体の知れない黒い影だった。

シリーズ全6巻。



Young Adult 通信

てっぱん・せれくと号



★ 10代のうちに出会ってほしい本を集めました。★

みんな知ってる？
～図書館の便利な使いかた～

1. 本のほかに、CD3点、DVD2点まで借りられます。
 2. 館内PCやインターネット等から図書館の資料に予約をかけたり、メールで連絡を受けたりできます。（初めてログインする時の仮パスワードは生まれの月日4桁です）
 3. 中央図書館では読書席や調べ物用インターネットブースを使うことができます。
- (注) 1～2は市川市在住・在学の方のみのサービスです。

*初めて図書館利用券を作る時や、3年おきの利用券更新の時には、住所の確認ができるもの（学生証・生徒手帳・保険証など）が必要になります。



市川市中央図書館
市川市宍高1-1-4
TEL047-320-3346

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/db/1030.html>

YoungAdult 通信は中学生・高校生向けのお便りです。

「天山の巫女ソニン 1 黄金の燕」

菅野雪虫／作 講談社



朝鮮半島を思わせる架空の地に、沙維さゐという国がありました。この国のお城に、12歳のソニンは侍女として仕えています。

ソニンはただの百姓の娘ではなく、生まれてからずっと巫女の修行をしていましたが、適性がなく家に戻された落ちこぼれ巫女。しかし、彼女は口のきけない沙維の7番目の王子の言葉を理解できます。

そこで、王子の身の回りの世話をしていましたが、城の内部で起こった陰謀に巻き込まれてしまいます。シリーズ全5巻、外伝も2冊あります。



「タイムマシン」

H. G. ウェルズ／作 金原瑞人／訳 岩波書店

ここは十九世紀のイギリス。仲間が集まって話している部屋に彼が入ってきた。タイムマシンを発明したというTT（ティーティー）だ。呼び名をタイムトラベラー「時間旅行者」の頭文字からとったTTは、タイムマシンに乗り見てきたという、数十万年後の世界の話をはじめた。

ここでは、人類は地上人と地底人の異なった生物に進化していた。地上人と過ごしていたTTだったが、乗ってきたはずのタイムマシンが無くなってしまったという。TTはどうやって無事に未来から帰ってくることができたのだろうか。

「天と地を測った男 伊能忠敬」

岡崎ひでたか／作 高田勲／画 伊能忠敬記念館／監修 くもん出版

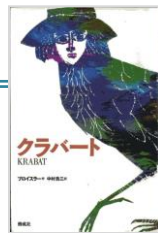
伊能忠敬は、1745年、千葉県九十九里町で生まれました。早くに母を亡くし、父や兄姉と離れて暮らすこともありましたが、算法に親しみ、医学も学びます。佐原村の伊能家に婿入りしてからは、村や、家のために奮闘します。49歳で隠居すると、江戸へ出て天文暦学を学び、55歳で蝦夷の測量をすることになりました。

歩いて日本地図を作った千葉県が誇る偉人の伝記物語。



「クラバート」

オトフリート=プロイスラー／作
ヘルベルト=ホルツィング／絵
中村浩三／訳 偕成社



ドイツ、シュヴァルツコルム村近くの水車場。そこに弟子入りした14歳のクラバートは、親方から製粉のほかに魔法を教えてもらうことになった。しかしあくる年の元旦、一番親しかった職人頭のトンダが死んでいるのが見つかった。トンダは殺されたということがわかると、クラバートは仕返しのために魔法のうでをぐんぐんあげていく。そんな中、1人の少女と出会う。

「夏の庭」

The Friends

湯本香樹実／著 新潮社

「人は死んだらどうなるの」そんな好奇心をもった6年生の男子3人組は町外れに住む一人暮らしの老人の観察をはじめ。もうすぐ死ぬんじゃないかという彼らの思惑とは反対に、おじさんは元気になり奇妙な交流が生まれることに。

3人はおじさんからいろいろなことを教わる。ペンキの塗り方、庭の作り方、そしてものの考え方まで。少年達はおじさんとの関わりを通し、それぞれの悩みをこえて夏の思い出を胸に成長していく。

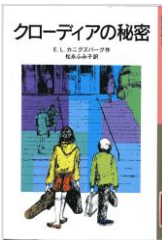


「クローティアの秘密」

E.L. カニグズバーグ／作 松永ふみ子／訳 岩波書店

優等生の長女でいるのがいやになったクローティアは、お金を貯めている弟のジェミーを誘って家出する。向かった先はニューヨークのメトロポリタン美術館。

広い館内で見つからないようにすごしているうちに、ミケランジェロの作といわれる天使の像の魅力に引き寄せられていた2人は、その謎を解こうと奮闘する。



「黄金の羅針盤」

フィリップ・プルマン／著 大久保寛／訳 新潮社



ライラは自由奔放で、おてんばな女の子だ。ある時、ライラの周りで子どもの誘拐事件が頻繁に起こり始めた。うわさでは、誘拐された子どもたちは、ある実験に使われるという。それは、誰もが持っていて、片時も離れることのないダイモン（守護精霊）を本人から切り離すというものだった。ダイモンとは魂のような大切な関係にあり、切り離されるとお互い生きていけない。

親友のロジャーも連れ去られてしまった。ライラはジブシーたちとともに救出に向かう。

そんなある日、オーロラの中にどこかの街が浮かんで見えた。その街に行くために、子どものダイモンが必要らしい。空中の街には行けるのか。そして、さらわれた子どもたちは助かるのか。

続きの『神秘の短剣』『琥珀の望遠鏡』も是非読んで下さい。



「囚われちゃったお姫さま (魔法の森1)」

パトリシア・C・リーデ／著

田中亜希子／訳 東京創元社

リンダーウォール国の姫シモリーンは、刺繍やダンスなどが嫌いで、お姫さまでいることにすっかり退屈していた。

その上、好きでもない王子と結婚させられることになり、ついに城から逃げ出して、たどりついたのはドラゴンでいっぱい洞穴。すすんでドラゴンの囚われの姫となり、城とは正反対の生活が始まったが、シモリーンにとってはうきうきする毎日だった。

シリーズ全4巻。

